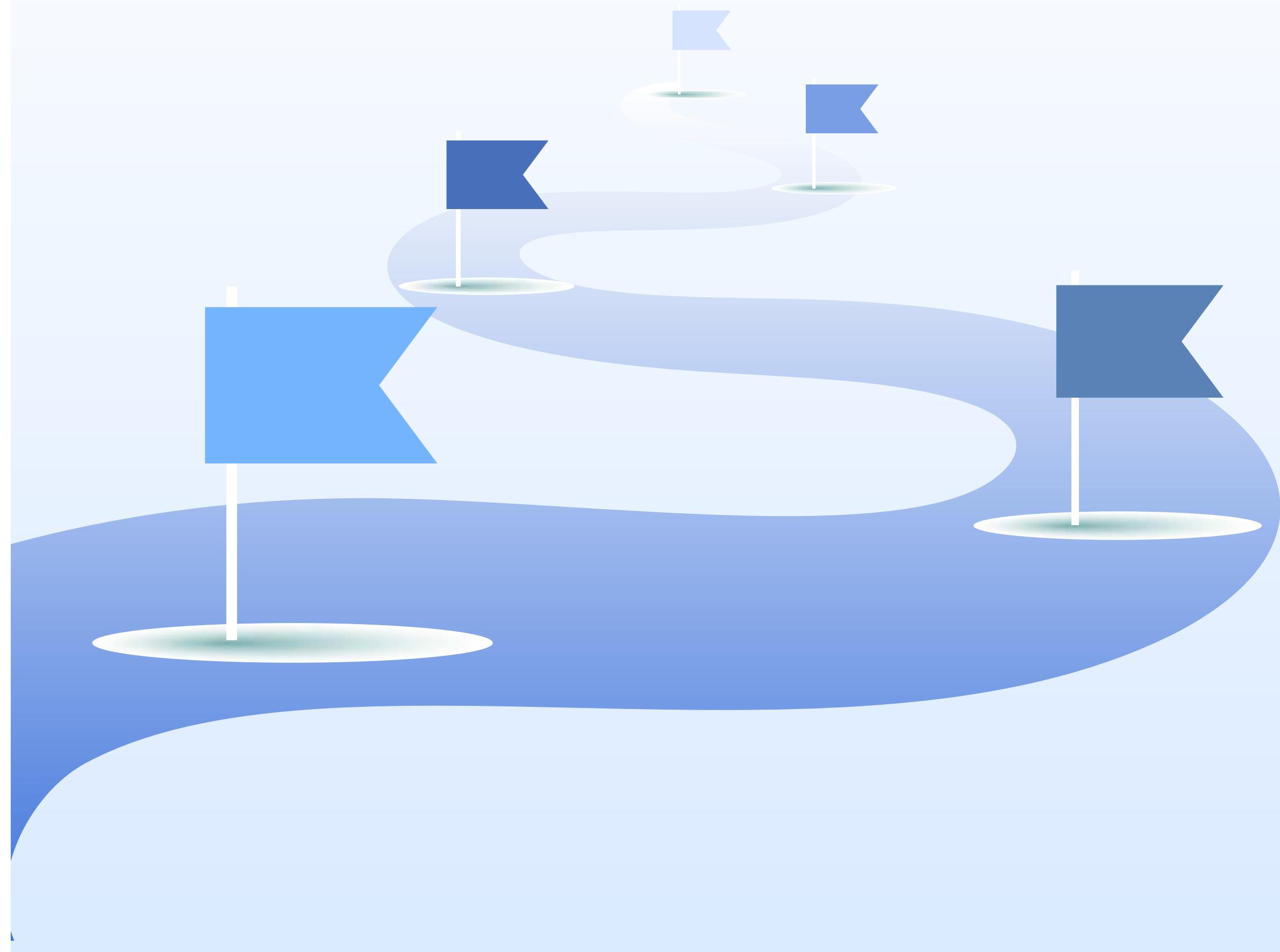




# DX推進 マンダラチャート

マンダラチャートの活用方法や、活用例について紹介いたします。



# はじめに

## 目次



DX推進マンダラチャートについて



8つの推進領域



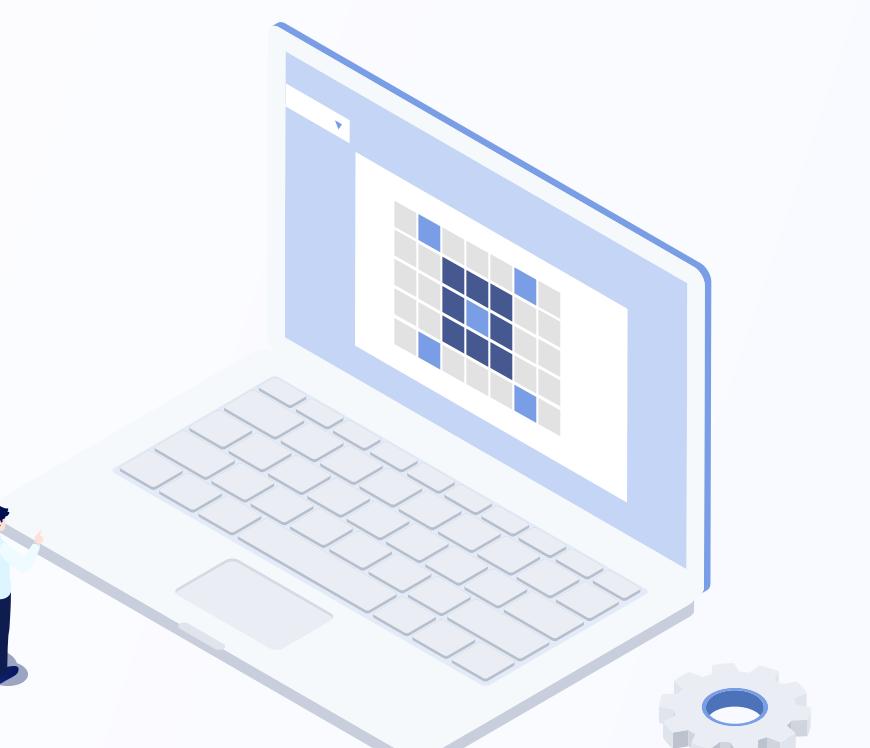
活用方法



活用例



intra-martについて



DX推進マンダラチャートは、デジタルトランスフォーメーション（DX）戦略の立案および実行を支援するためのフレームワークです。このチャートは、ビジョンの達成と成功のために必要な要素を整理し、組織全体が戦略的に取り組むべき重要な要素を示す図表です。

本チャートは、イントラマート社が独自に定義したDX推進に求められる内容を表すチャートです。

DX推進で重要となる8つの領域から構成しており、社内の現状把握を目的にご活用いただけます。

本ホワイトペーパーを通じて、新しい成長の機会を探求する手助けとなれば幸いです。

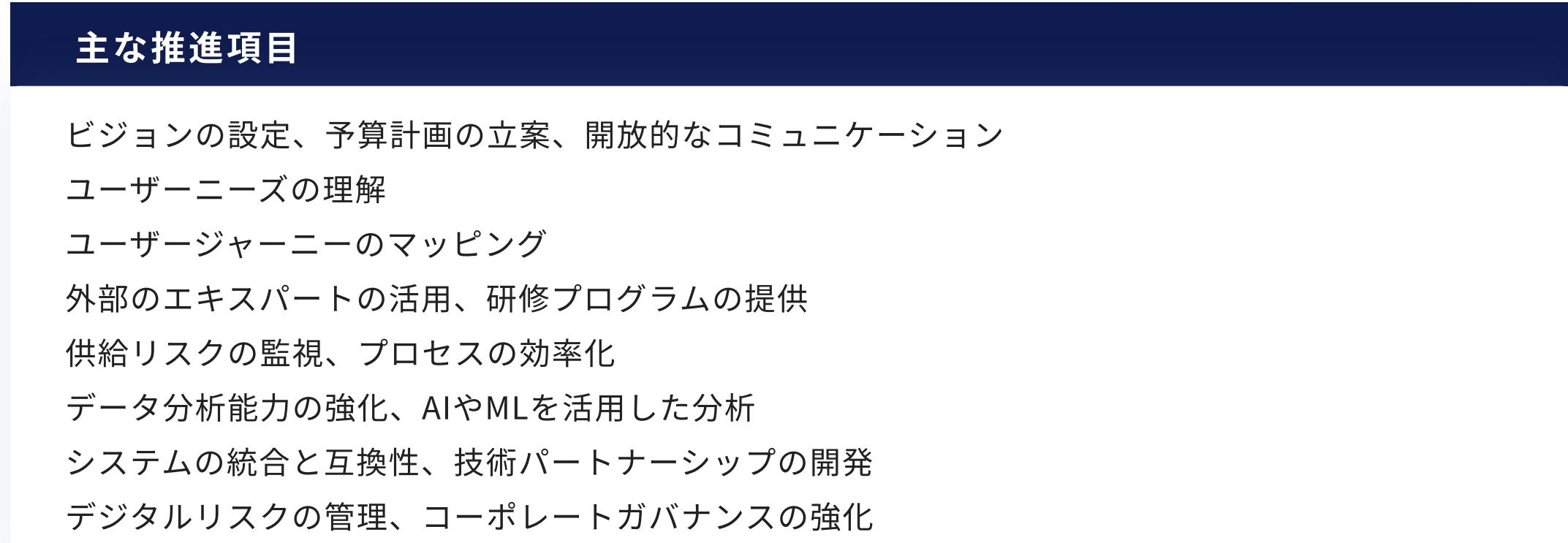
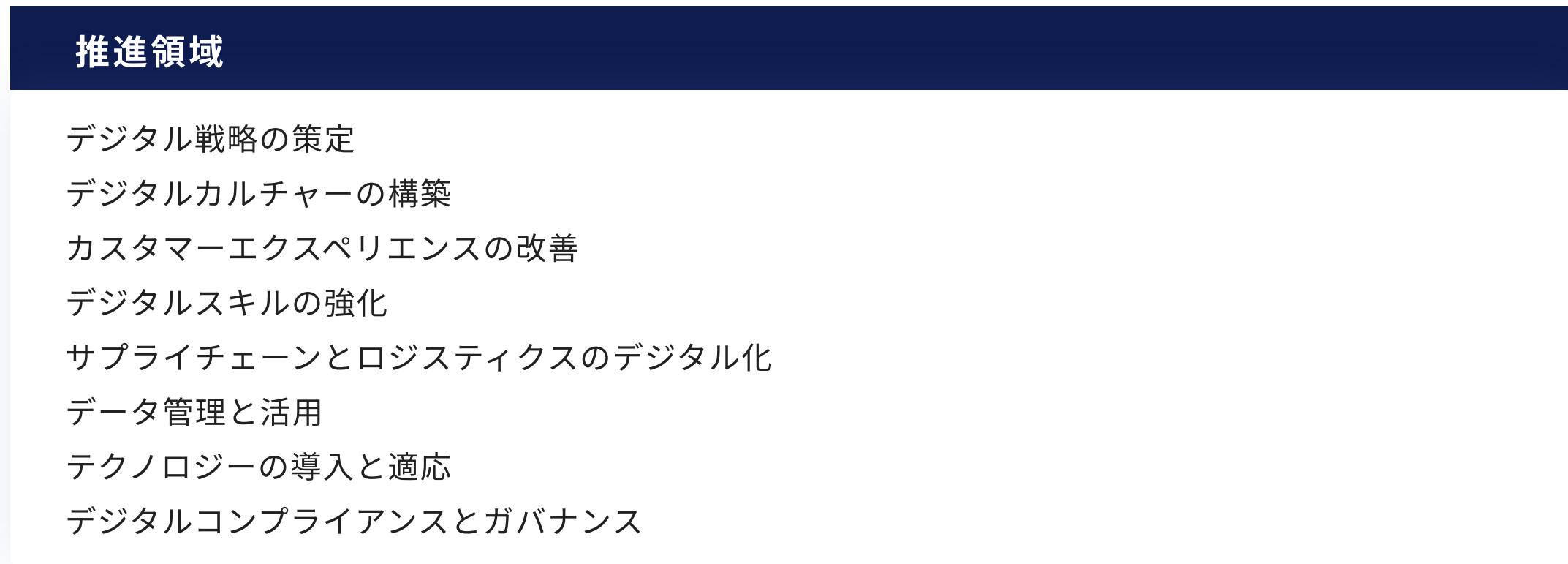
▼ダウンロードはこちら（Excelファイルがダウンロードされます）

<https://lp.intra-mart.jp/rs/179-UGW-210/images/WP-intra-mart-DX-mandala-chart.xlsx>

ビジョンの設定	ステークホルダーの同意	ロードマップの作成	組織的な変革管理	フェイルファーストの導入	定常的なフィードバック環境	ユーザーニーズの理解	ユーザーテストとアジャイル改善	パーソナライゼーションの活用
目標の明確化	デジタル戦略の策定	予算計画の立案	デジタルファーストの考え方	デジタルカルチャーの構築	リモートワークのサポート	デジタル接点の最適化	カスタマーエクスペリエンスの改善	カスタマーサポートのデジタル化
KPIの設定	レビューと更新のプロセス	リスク管理の設計	開放的なコミュニケーション	組織的な学習環境の創出	デジタルイノベーションの奨励	ユーザージャーニーのマッピング	ブランド体験の強化	フィードバックの収集と分析
研修プログラムの提供	認定制度の導入	デジタルリーダーの育成	デジタル戦略の策定	デジタルカルチャーの構築	カスタマーエクスペリエンスの改善	自動化とAIの活用	供給リスクの監視	プロセスの効率化
外部のエキスパートの活用	デジタルスキルの強化	eラーニングの利用	デジタルスキルの強化	DX推進の実現	サプライチェーンとロジスティクスのデジタル化	データドリブンな意思決定	サプライチェーンとロジスティクスのデジタル化	サプライヤーとのデジタルコミュニケーション
スキルアップのための資源配分	継続的なスキル評価	メンターシップの設立	データ管理と活用	テクノロジーの導入と適応	デジタルコンプライアンスとガバナンス	デジタルトラッキングシステムの導入	グリーンロジスティクスの推進	リアルタイムの在庫管理
データの収集	データの可視化	AIやMLを活用した分析	技術的な課題の評価	テクノロジーアップデートの管理	システムの統合と互換性	デジタルリスクの管理	サイバーセキュリティ対策	セキュリティポリシーの整備
データの整理	データ管理と活用	データのビジネス活用	新たな技術の探索	テクノロジーの導入と適応	ユーザーエクスペリエンスの最適化	法規制の遵守	デジタルコンプライアンスとガバナンス	内部監査とコントロール
データ分析能力の強化	データプライバシーとセキュリティ	データガバナンスの確立	クラウドサービスの利用	技術パートナーシップの開発	ITインフラのセキュリティ	データプライバシーの確保	コーポレートガバナンスの強化	デジタルエシックスの推進

# 8つの推進領域

今回のチャートは、DX推進で重要となる8つの領域から構成しています。まず初めに何を目的としてDXを推進するのか明確にするため、領域を区分けしています。業界や置かれている状況によってDX推進を行う目的は様々であると考えられ、それぞれ導入するシステムや方法は異なります。目的が明確でない場合、自社に合わないシステムを構築してしまうなど、失敗してしまう可能性が高まるので、自社に必要な推進領域はどこなのかを把握しましょう。



# 使い方

まずは本資料をDXプロジェクトに関わる社内外の関係者に共有する場を設けてください。自社が目指しているDXのビジョン、戦略、ロードマップ、および関連する変革のプロセスを説明し、関係者に共通の理解をもたせることができ第一のステップです。次に、自社が今推進できている項目を色分けすることで可視化します。最後に、自社が注力的に取り組む推進内容を皆で意見をすり合わせ、実現に向けて必要な要件を取りまとめていきましょう。



ビジョンの設定	ステークホルダーの同意	ロードマップの作成	組織的な変革管理	フェイルファーストの導入	定期的なフィードバック環境	ユーザーニーズの理解	ユーザーテストとアジャイル改善	パーソナライゼーションの活用
目標の明確化	デジタル戦略の策定	予算計画の立案	デジタルファーストの考え方	デジタルカルチャーの構築	リモートワークのサポート	デジタル接点の最適化	カスタマーエクスペリエンスの改善	カスタマーサポートのデジタル化
KPIの設定	レビューと更新のプロセス	リスク管理の設計	開放的なコミュニケーション	組織的な学習環境の創出	デジタルイノベーションの奨励	ユーザージャーニーのマッピング	ブランド体験の強化	フィードバックの収集と分析
研修プログラムの提供	認定制度の導入	デジタルリーダーの育成	デジタル戦略の策定	デジタルカルチャーの構築	カスタマーエクスペリエンスの改善	自動化とAIの活用	供給リスクの監視	プロセスの効率化
外部のエキスパートの活用	デジタルスキルの強化	eラーニングの利用	デジタルスキルの強化	DX推進の実現	サプライチェーンとロジスティクスのデジタル化	データドリブンな意思決定	サプライチェーンとロジスティクスのデジタル化	サプライヤーとのデジタルコミュニケーション
スキルアップのための資源分配	継続的なスキル評価	メンターシップの設立	データ管理と活用	テクノロジーの導入と適応	デジタルコンプライアンスとガバナンス	デジタルトラッキングシステムの導入	グリーンロジスティクスの推進	リアルタイムの在庫管理
データの収集	データの可視化	AIやMLを活用した分析	技術的な課題の評価	テクノロジーアップデートの管理	システムの統合と互換性	デジタルリスクの管理	サイバーセキュリティ対策	セキュリティポリシーの整備
データの整理	データ管理と活用	データのビジネス活用	新たな技術の探索	テクノロジーの導入と適応	ユーザーエクスペリエンスの最適化	法規制の遵守	デジタルコンプライアンスとガバナンス	内部監査とコントロール
データ分析能力の強化	データプライバシーとセキュリティ	データガバナンスの確立	クラウドサービスの利用	技術パートナーシップの開発	ITインフラのセキュリティ	データプライバシーの確保	コーポレートガバナンスの強化	デジタルエシックスの推進

# 活用例

---

本シートを用いた具体的な推進の活用例について、一例を紹介します。DXの基本概念から具体的な実践方法までをまとめるもよし、プロジェクトのキックオフミーティングで使用するもよし、社内で共通の理解を深め、具体的なステップに沿って推進を進めるためにご活用ください。

## ビジョンや経営戦略が不明瞭

局所的な業務のデジタル化を行なって満足するといった結果のみで終わってしまう…

### 解決

プロジェクトメンバーがDX推進におけるビジョン・目標・行動基準などを意思合わせをし、経営層を含めた会社としての戦略やビジョンを持つためのツールとしてご活用ください。

## 推進項目の優先度がつけられない

全社的な方針は決まっているが、自社にとって何から手をつけていくべきかがわからない…

### 解決

チャート内で今自社ができていることや、できていないことを色分けして、何から強化するべきかを可視化してください。

## メンバー外からの進捗に関する質問

DX推進は具体的に何を実施しているのか説明を求められることが多い…

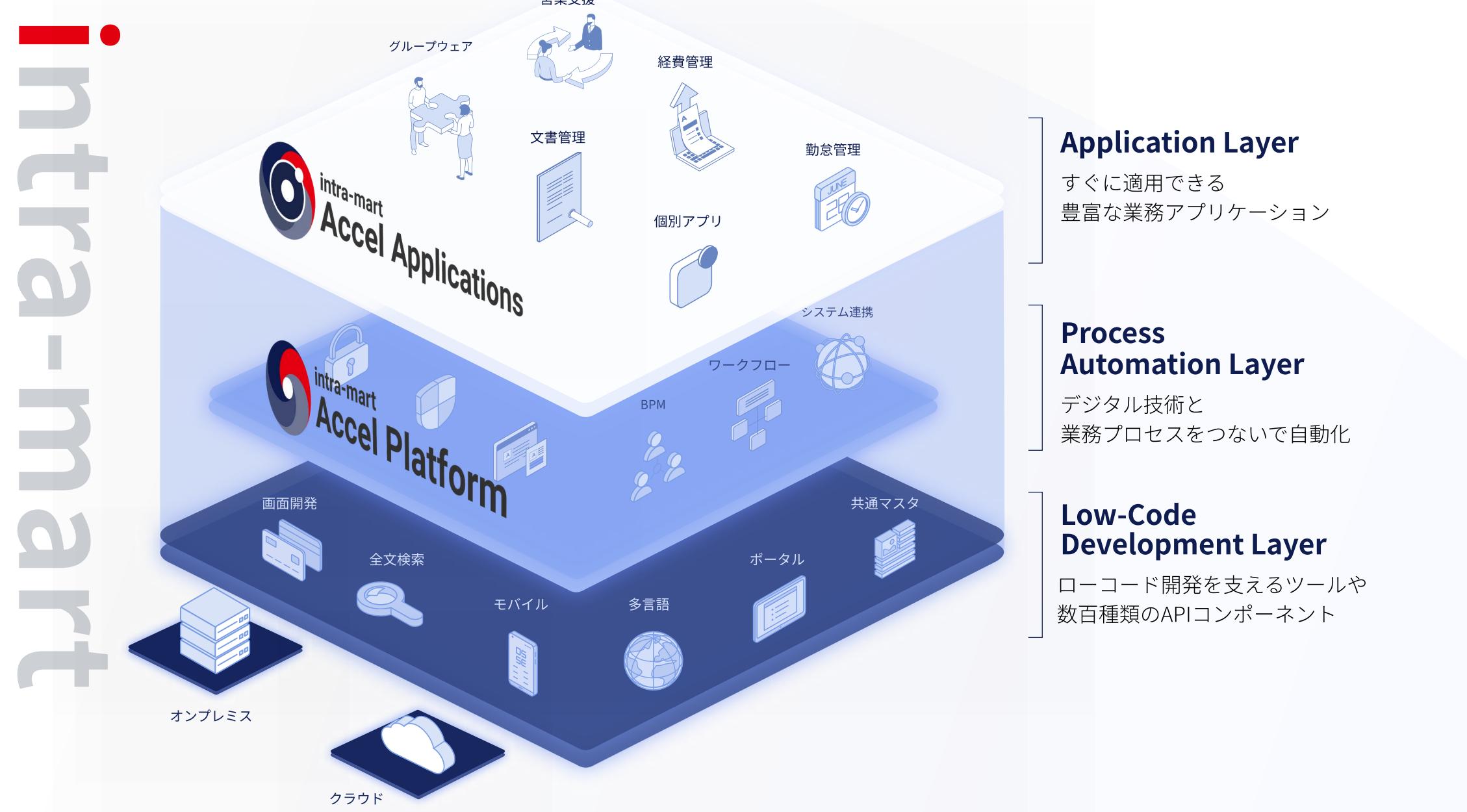
### 解決

今何をやっているのか、大きな枠組みで説明することが可能です。また、今後何をやろうとしているのかも伝えることも可能です。

# サービス概要

---

# 業務プロセスのデジタル化・自動化を実現するシステム共通基盤



## 攻めのDXと守りのDXを実現

### 豊富な機能を取り揃えたアプリケーションプラットフォーム

「intra-mart」は、企業内に存在する様々な業務システムを同一のプラットフォーム上に集約し、最新のデジタル技術を活用することで、**IT投資の効率化と業務プロセスの最適化・標準化**を実現します。さらに、業務プロセスのフルオートメーション化をサポートする機能とAPIコンポーネント群を多数取り揃えており、**スピーディかつ柔軟なローコードアプリケーション開発**を可能にします。グループ企業全体での共同利用はもちろん、クラウド利用も可能です。

## INDEX

intra-mart Accel Platformは、企業特有のニーズにあわせたカスタマイズしやすいOpenな開発環境と全社員がすぐに使えるEasyさを備えています。システム開発に欠かせない機能も豊富に取り揃えており、企業のあらゆる業務課題をサポートします。



### ローコード／アジャイル開発

#### このような課題を解決

- ✓ IT人材不足を解消したい
- ✓ ビジネスニーズの変化に合わせて、素早く内製でシステム開発をしたい



### 業務プロセス改善

#### このような課題を解決

- ✓ 紙運用の業務をデジタル化したい
- ✓ 業務プロセスを見直して最適化したい



### システム共通基盤

#### このような課題を解決

- ✓ 他システムとの連携でユーザビリティを高めたい
- ✓ バラバラな業務システムを効率化させたい

# ローコード／アジャイル開発

## 誰でも作れる、変えられる、運用できる 高い業務生産性を実現する「ローコード開発」

簡易なフォーム画面から複雑な業務画面まで、ドラッグ＆ドロップなどの操作で簡単に画面を作成できます。様々なUI部品も備えており、作成した画面はintra-martのワークフロー/BPMとも連携可能です。また、PCやスマートフォン等様々なデバイスで実行できます。

### 01 Webブラウザ上でかんたん画面作成

簡易なフォーム画面から複雑な業務画面まで、ドラッグ＆ドロップなどの操作で簡単に作成することができ、intra-martのBPM/ワークフローとも連携可能です。作成した画面は、PCやスマートフォン、タブレットなど様々なデバイスで実行可能です。



### 02 ノンコーディングで業務ロジック作成

プログラミングの知識がない方でも、様々な業務処理の部品をドラッグ＆ドロップで配置し線でつなげるだけで、業務ロジックを作成することができます。今までコーディングが必要だった処理ロジックもコーディング不要になり、開発生産性の向上が期待できます。



### 03 柔軟な拡張性と高いカスタマイズ性

システム運用後に生じた変更も、運用を止めることなくWebブラウザ上で設定変更してリリースすることができます。intra-martが持つ様々な業務コンポーネント群と連携できるため、エンタープライズに必要なアプリケーションもお客様に合わせて自由にカスタマイズ可能です。



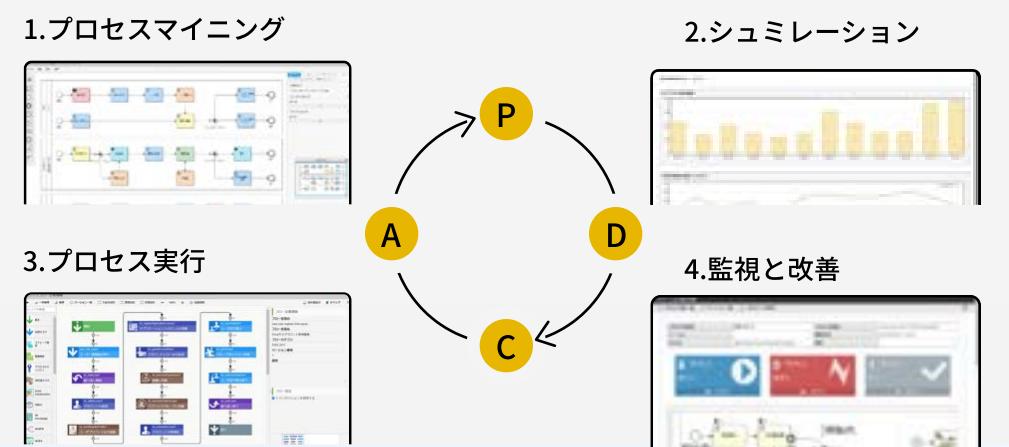
# 業務プロセス改善

## 業務プロセスのデジタル化・自動化を実現 業務プロセスのスピードアップ

紙で運用している業務のデジタル化はもちろん、システムの個別導入によって分断された様々な業務を一連のプロセスとして可視化し、継続的な改善によって効率化を実現する、業務プロセス管理ツールが揃っています。

### 01 継続的な業務プロセス改善を実現

各部門の業務プロセスを可視化し、定義～実行～モニタリング～改善という、継続的な業務改善の仕組みを確立することができます。現在のパフォーマンス状況を表示したり、過去の状況や今後の予測も可能です。



### 02 ワークフロー×ローコード開発による 高い開発生産性

intra-martのBPM/ワークフローとローコード開発ツールを組み合わせることで、システム構築において高い開発生産性を実現します。カスタマイズ性が高く、業界問わずお客様の業務・運用に合わせたシステムが構築可能です。

### 03 包括的なDX業務改革をトータルサポート

BPMを活用した業務プロセス改善を実践するための様々なサポートサービスを提供しています。DX人材を育成するプログラムやるべき業務プロセスの策定、製品の導入、ア�파ーフォローまでトータルで支援しますので、初心者の方も安心してご利用いただけます。



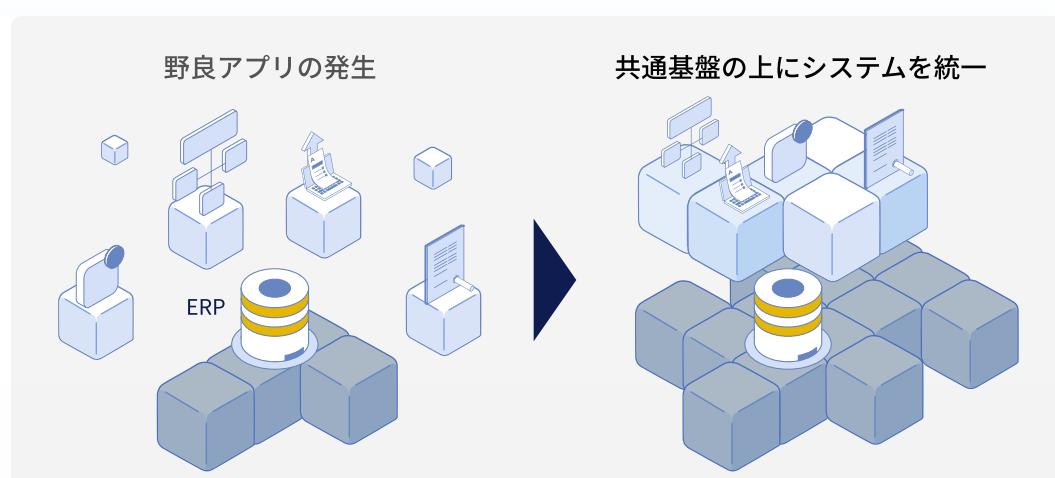
# システム共通基盤

## 混在する業務システムを集約することで IT投資の効率化・標準化を実現

業務システムの集約によって、IT投資の効率化と標準化を実現します。ガバナンスを保ちながら、小規模利用から全社・グループ展開へと、ビジネスの成長に合わせて利用範囲を拡張させることができます。

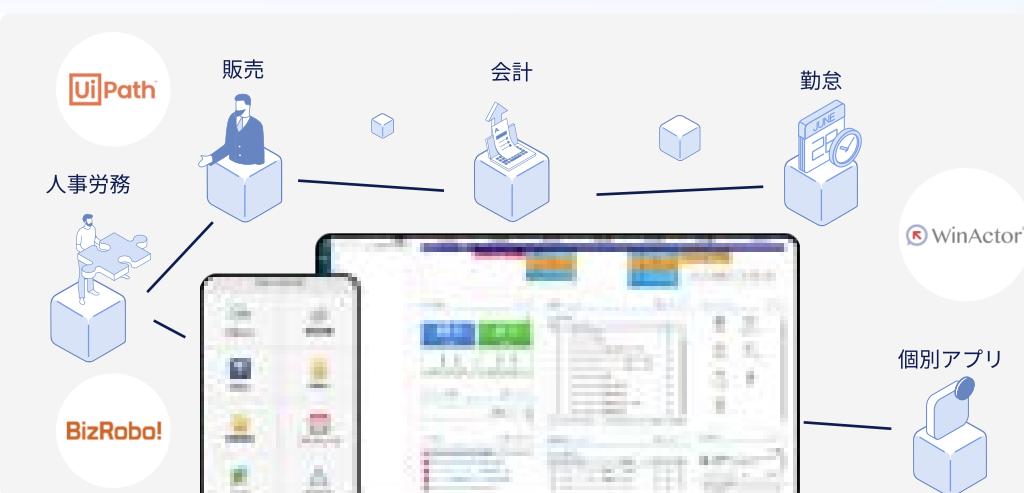
### 01 システム共通基盤によるガバナンス

企業内に存在する業務システムを一つのプラットフォーム上に集約することで、IT投資の効率化と業務の標準化を実現します。また、PaaS基盤としてグループ企業内の共同利用も可能です。



### 02 開発ツールの組み合わせで自由にカスタマイズ

プラットフォーム上に用意されている、ローコード開発を含む豊富な業務コンポーネントを活用することで、複雑なWebシステムもスピーディに構築できます。ソースコードも公開しているため、独自のフレームワークとしてカスタマイズ可能です。

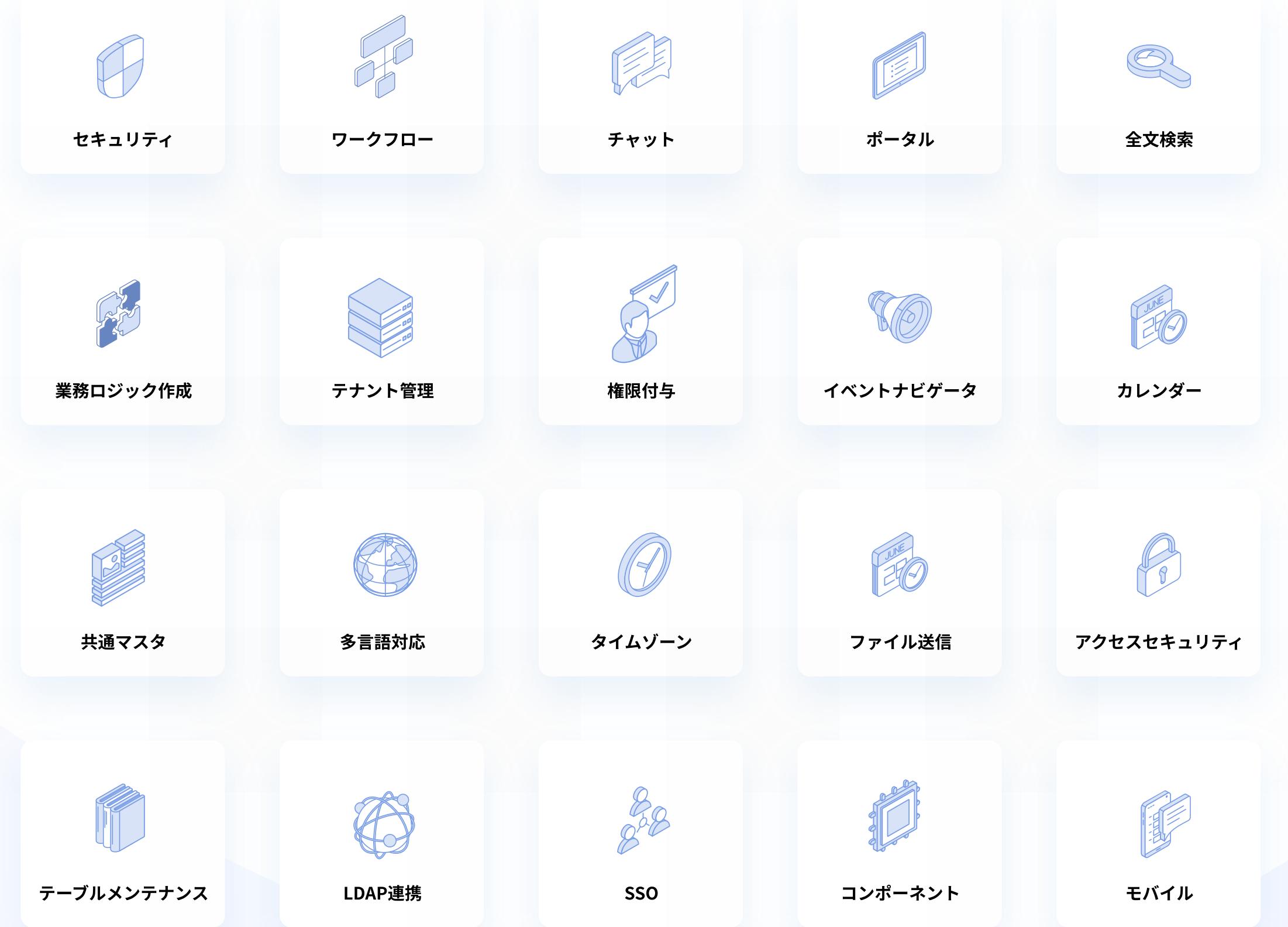


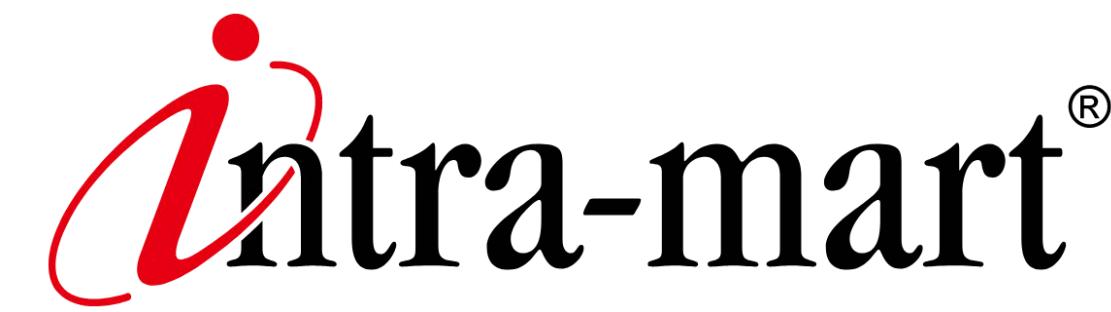
### 03 柔軟なシステム連携でユーザビリティを向上

外部システムをつなぐモジュールによって、グループウェアといった情報系システムや会計などの基幹システムに同一画面からアクセスできるため、操作性を大幅に高め、業務効率を向上します。

## その他の機能

Webシステム開発でよく利用される機能をAPIで数百種類提供しています。これらを自由に組み合わせてシステム開発を行うことで、お客様の業務に合ったアプリケーションを短期間で柔軟に構築することができます。





## 東京本社

東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ5階  
TEL : 03-5549-2821

## 関西営業所

大阪府大阪市北区堂島三丁目1番21号 NTTデータ堂島ビル2F  
TEL : 06-6210-4861

## 名古屋営業所

愛知県名古屋市中区栄2丁目1-1 日土地名古屋ビル4F  
TEL : 052-990-9134

HP

<https://www.intra-mart.jp/>

お問い合わせ

<https://www.intra-mart.jp/inquiry.html>